



横芝小6年 菅澤 淳

今年で4回目の僕、3回目の蒲池君、2回目の千島君と全員35名の参加者で、町民キャンプに行ってきました。

栃木県日光霧降高原にいた時は、朝6時前にでたのにもかわらず昼でした。滝つぼで蒲池君が写真をとってくれた霧降の滝を見たあと、キャンプ場へ行きました。

キャンプ場でテントをはってからがたいへんです。ゆるい坂の一番上にテントをはったので、雨が降ったら一番はじめに上から流れる雨をくらう場所がここです。雨にそなえて穴をほりました。苦労してやっと掘った穴なのに、その夜、雨は降りませんでした。次の日の朝は、みんなも僕も「チエツ。」とか「ありあ。」とかの不平でいっぱいでした。穴はもったいなかったけれど雨は降らないでよかったと今では思います。

キャンプファイヤーは、今までのキャンプファイヤーの

中で一番楽しかったと思うくらい楽しめました。なにしろ、加瀬さんが遊びをたくさん考えてきてくれました。ファイヤーの火が消えるのを弱い火が教えています。1時間ほどでキャンプファイヤーは終わりました。

たかぶっているせいか、ねむれませんでした。月が赤っぽかったのも印象に残っています。 たった1泊2日の短い旅行だったけれど、短い間に楽しいスケジュールがいっぱいつまっていた、僕はとても満足しました。 帰りのバスの中でねていた人が多かったという事は、つかれてねていた人は、1泊2日でも満足していた人だと

キャンプファイヤーが最高

町民キャンプ



外での食事は格別



上塚小6年 長山 清子

8月23日・24日、友達と3人で楽しみにしていた町民キャンプに参加しました。参加者は、私たち小学生と中学生のほかに、大人の人もちもふくめて35名でした。文化会館を6時ごろ出発し



盛りあがったキャンプファイヤー

僕は思いました。

て霧降高原のキャンプ場につくまで、バスの中では自己紹介をしたり、歌を歌ったりしました。 私は、早くつきたいと思いつながら「キャンプ場はどんな所かな」と想像していました。やはりキャンプ場は、虫の声が聞こえたり、アブや蚊がたくさんいました。が、すてきな所でした。 私は友達3人と、大人のうちに手伝ってもらいながら、

テントをはったり、夕食の準備をしたりして、いそがしく時間をすごしました。 私の一番に残ったことはキャンプファイヤーでした。 キャンプファイヤーが始まり初めは「つまらない」と思ったけれど、『木の中のりす』という遊びや、家族での出し物を見ているうちにだんだんと楽しくなって、火の中にすいこまれそうでした。 キャンプファイヤーが終わったあと、テントに入ってもなかなか寝られません。友達とおもしろかった話を話しながら、明日のことを考えていました。 次の日は、フィールドアスレチックに行きました。そこは、すべて太い木で作ってあって、くさってこわれそうなところや、すべりやすいところがありました。 その日のさいごは植物園を見学して、夕方6時半ごろ文化会館にぶじ帰ってきました。 キャンプ場での思い出はたくさんできました。来年もまた母と参加できたらよいなと思っています。